

# ガバメントクラウドへの標準的な 接続サービスの検証に係る事業計画

令和4年5月10日

須坂市



# 目次

1. 団体名、団体代表者名、担当者と連絡先	.....	2
2. 回線引き込み箇所と数量、それぞれの必要帯域、それらの理由	.....	3
3. ネットワーク構成図	.....	4
4. 実施計画	.....	5

# 1. 団体名、団体代表者名、担当者と連絡先

## ■ 公募団体名

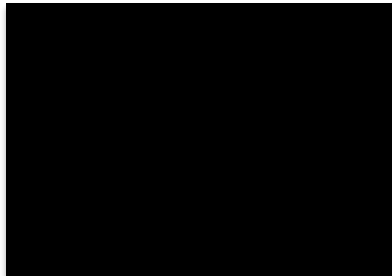
長野県須坂市

## ■ 公募団体代表者氏名

須坂市長 三木 正夫

## ■ 公募団体担当者名と連絡先

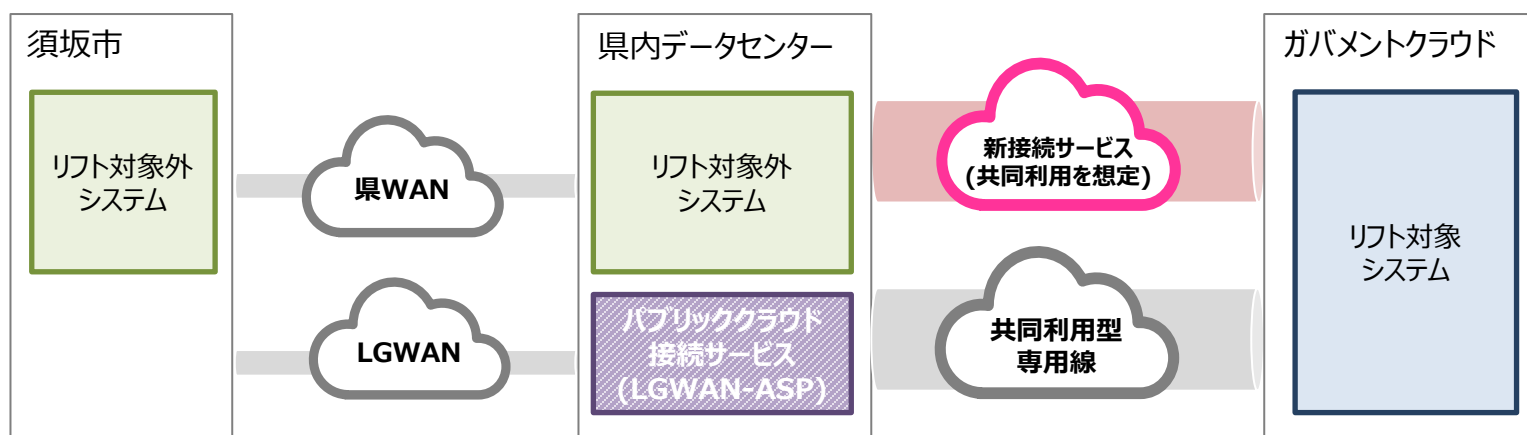
所属 :  
役職 :  
氏名 :  
電話番号 :  
Eメールアドレス :



## 2. 回線引き込み箇所と数量、それぞれの必要帯域、それらの理由

### ■ 接続概要図

須坂市（以降、「当市」と記載）における先行事業計画では、長野県高速情報通信ネットワーク（以降、「県WAN」と記載）と共同利用するガバメントクラウド接続回線を組み合わせることによる投資対効果を検証するとともに、国内の民間事業者が提供するパブリッククラウド接続サービス（LGWAN-ASP）を中継して区市町村からガバメントクラウドに接続が可能であることを実証することとしている。ガバメントクラウドへの標準的な接続サービス（以降、「新接続サービス」と記載）を利用した接続方式の検証においても、先行事業計画を前提に検証する想定であるため、県内データセンターを経由した接続方式とする。



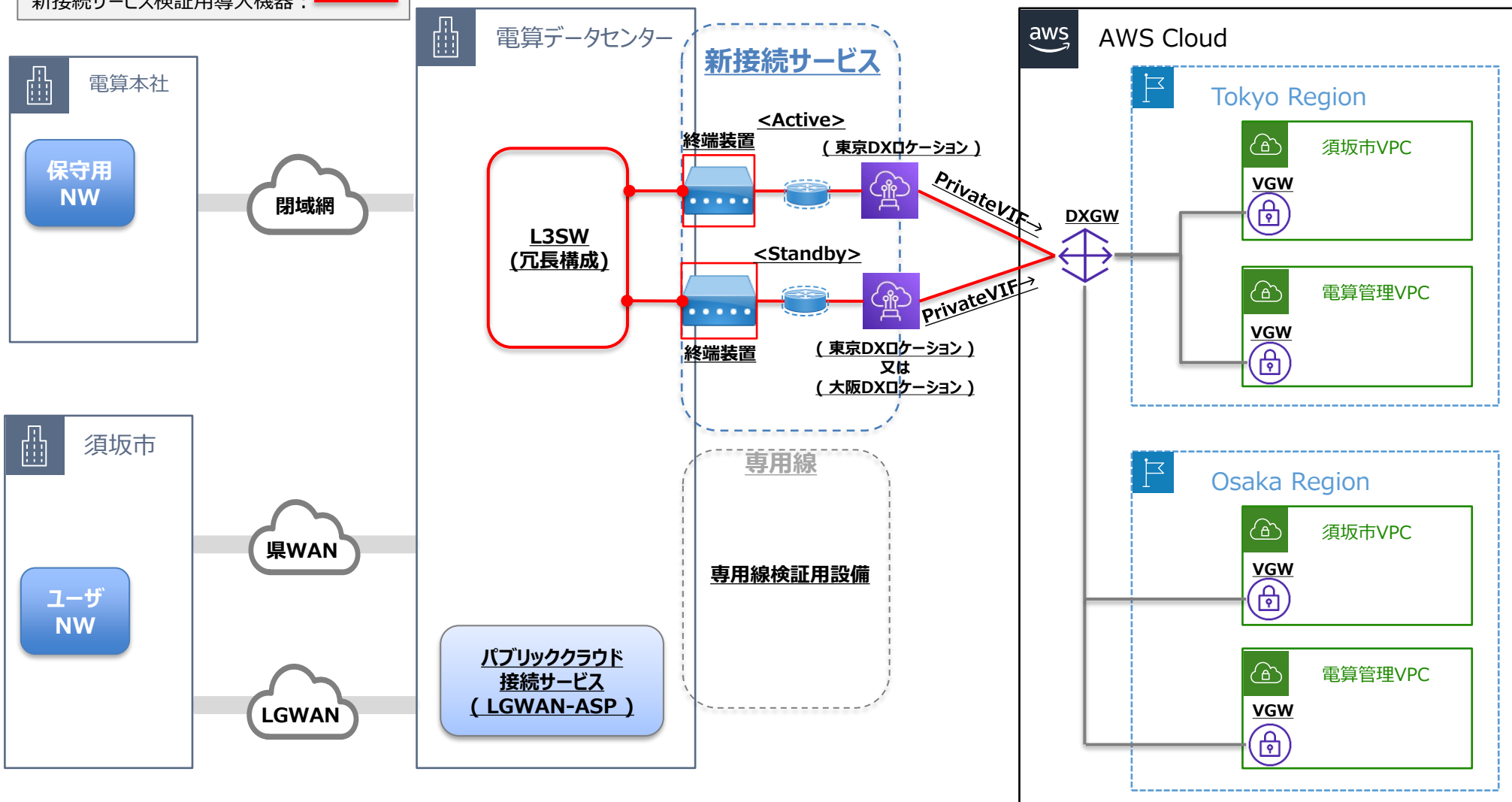
### ■ 回線引き込み箇所、必要数量、必要帯域及びそれらの理由

	内容	理由
回線引き込み箇所	県内データセンター（電算DC） ※敷設場所の詳細はセキュリティの観点から本資料には記載しない。	新接続サービスを利用した接続方式の検証においても、先行事業計画を前提に共同利用による投資対効果を検証するため
必要数量	2本	回線の冗長試験を行うため
必要帯域	100Mbps（可能であれば30Mbps）	当市の現行システムにおけるトラフィック量は30Mbps未満で推移しており、100Mbpsでは過剰であるため。 ※小規模団体を考慮した場合には、100Mbps未満の帯域提供も必要と想定する。

# 3. ネットワーク構成図

## ■ ネットワーク構成図

新接続サービス検証用導入機器： —



# 4. 実施計画

## ■ 検証内容

当市先行事業においては、市が利用する県内データセンターとガバメントクラウド間の回線として、専用回線を調達し検証作業を進めている。また、当市は先行事業が終了となる令和5年度以降も、引き続きガバメントクラウド上で基幹システムを稼働させる予定であるため、**令和5年度以降の接続回線については、デジタル庁の検討結果を踏まえながら利用する回線を検討、選択をしていく必要がある。**このような状況を踏まえ、令和5年度以降のガバメントクラウドへの接続回線について「専用回線を継続するか」、「新接続サービスへ移行するか」の判断に必要な検証を実施する。なお、**検証の結果は、令和5年度以降の当市のガバメントクラウド接続回線の利用計画に反映させるとともに、デジタル庁への報告と他団体への共有を念頭に、回線選定の検討に資するものとする。**

## ■ 検証方法

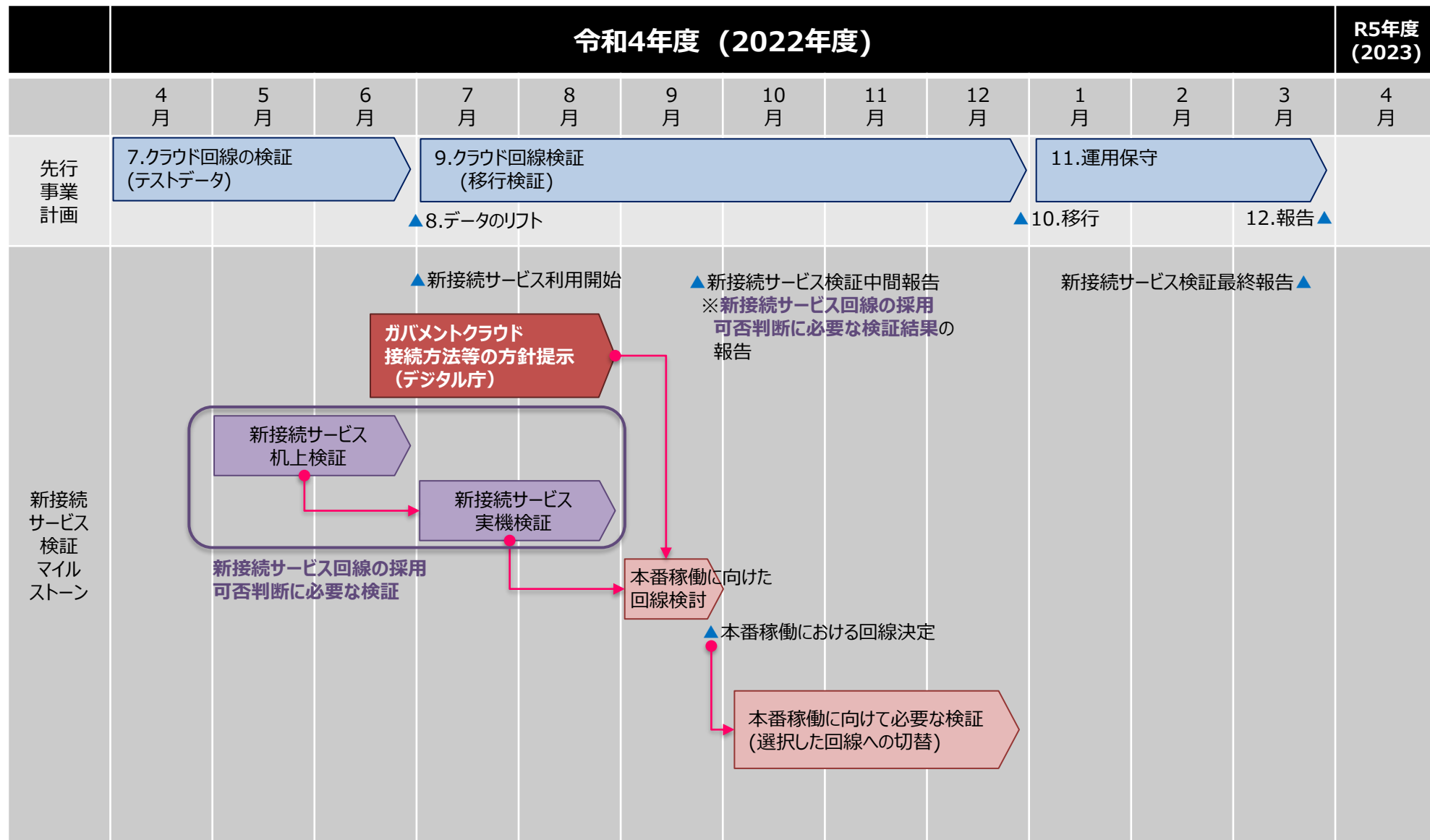
現在、検証を進めているガバメントクラウドとの接続形態（専用回線）について、デジタル庁が用意する新接続サービスを追加することにより、県内データセンターとガバメントクラウドを新接続サービスで接続し、先行事業計画に基づく各種検証を実施する。検証においては、①新接続サービスを追加検証することで、先行事業計画の進捗に影響を与えない効率的な検証が必要なこと。また、②仮に当市が令和5年度に新接続サービス回線を採用する場合、2022年9月頃までに新接続サービスの採用可否の判断に必要な検証を終える必要があること。の2点を考慮する必要があるため、検証作業は下表のとおり、**「新接続サービス回線の採用可否判断に必要な検証」と「本番稼働に向けて必要な検証」の2つの目的に沿って分割し、目的に沿った検証を優先的に進めることで効率的な検証を実施する。**

検証次期	内容(主な目的)	検証内容
2022年 5月～9月	当市が新接続サービス回線の採用可否判断に必要な検証	<ul style="list-style-type: none"><li>先行事業計画に基づく、クラウド回線の検証のうち、当市が新接続サービス回線の採用可否に必要と考える検証項目（投資対効果の検証、性能検証、可用性検証、負荷検証、簡易的な連携検証など）</li></ul>
2022年 10月～11月	本番稼働に向けて必要な検証	<ul style="list-style-type: none"><li>本番稼働用の回線として選択した回線(専用線または新接続サービス)への切替に必要な作業（設計の見直し/切替計画の策定および実行）を実施</li><li>なお、新接続サービス回線を採用する場合、デジタル庁の検討経過も踏まえながら実施時期を検討</li></ul>

なお、当市では先行事業計画書において、「（検証C-4）長野県高速情報通信ネットワークを活用したガバメントクラウドへの接続の検証」を計画していることを踏まえ、新接続サービス回線を複数市町村で共同利用する場合の検証も行う。

# 4. 実施計画

## ■ 検証スケジュール



# 4. 実施計画

## ■ 協力するアプリケーション開発事業者

新接続サービス検証においても、先行事業同様、当市現行システムにおける開発元であり、当市のシステム保守、ネットワーク管理、運用管理を行っている株式会社電算がアプリケーション開発事業者として参画する。当市及び電算におけるプロジェクト体制も先行事業と同じ体制で行い、先行事業期間を通して効率的かつ一貫した対応を行う。

### 会社情報

社名	株式会社電算
代表者	代表取締役社長 轟 一太
所在	長野県長野市鶴賀七瀬中町276-6
設立	昭和41年3月
上場	平成25年2月20日（東証第1部指定替え）
資本金	13億9千5百万円
売上高	160億9千8百万円（2020年度）
社員数	773名（2022年3月1日）
取得資格	ISO9001、ISO/IEC27001、ISO20000、ISO14001、【ISO27017取得準備中（2021年度取得予定）】 プライバシーマーク付与認定、総務省 電気通信事業法に基づく電気通信事業者、
業務内容	・情報処理サービス、情報提供サービス、情報通信サービス ・情報システムの企画・設計・開発並びにコンサルティング ・情報ネットワーク技術、情報通信機器・情報処理機器とその周辺機器の企画・研究・開発 ・データセンターサービス（iDC：ハウジング・運用・監視・セキュリティサポート等） など

